

令和2年10月5日(月)5限に沖縄講演会、6限に1、2年生合同多治見研究発表会を行いました。沖縄研究者の方の講演を聴き、続いて多治見研究をしてきた2年生の代表4グループの発表を聴きました。沖縄について知識を得た後に研究や発表のスタイルを学び、自分が始める研究の参考としました。

○沖縄講演会講師

平井芽阿里氏 中部大学国際関係学部 コモンズセンター所属(准教授)

○講演会の様子



○講演を聞いた生徒の感想

- ・沖縄の中でも方言の違いがあったり、全く読めない漢字があったりして面白かった。
- ・異文化に触れたことで、カルチャーショックを受けたけれど、文化を正しく理解して、これからもっと様々なことに触れたいと思いました。
- ・グローバル化が広がる現代で、異文化に触れる機会はより多くなると思う。今回の講演会では異文化を理解し、受け止める姿勢が必要であることを学びました。

○1、2年生合同発表会

2年生の4グループが、多治見研究の発表を行いました。どのグループもユニークな視点や調査方法で、説得力のあるプレゼンができました。

○発表会の様子



○発表会の感想（1年生）

- ・ただ調べるだけでなく、そこから企画書を出す行動をしていることに驚いた。先輩の凄さを感じた。
- ・多治見北高校の近くにこんなにもきれいな場所があることを知らなかった。永保寺の知名度をもっと上げて、多治見市の観光地にしていきたいと強く思った。
- ・私たちが興味をもてるように面白く工夫がされていて、素晴らしかった。私たちも多治見市について調べるので、先輩方のように工夫した発表をしたいと思った。
- ・パワーポイントは、内容すべてを書いてしまうのではなく、要点をまとめて大きく映し出すことが必要であることが分かりました。先輩方の発表、全てわかりやすかったです。
- ・多治見市は工事の際にも在来種を保護しておくことをしていて、私たちが知らない間に地元の生物を守る取り組みをしていることが分かり、面白かった。
- ・土岐川に対して悪いイメージしかなかったけど、実際に川に行って調査を行い、在来種が多いことや水がきれいなことを発表してくれたので、イメージが一転しました。
- ・市役所に企画書を出して返事をもらうという行動を起こしているところが、本当にすごいと思った。